

「シティコン海底山脈調査～沿岸漁業の再生と首都直下地震等からの迅速な復興」企画書

令和6年1月23日 首都防災ウィーク実行委員会

I 目的：沿岸漁業再生と首都直下地震等からの迅速な復興をめざし、シティコン海底山脈への理解を進めると共に、住民や漁業者の意向を把握し、早期実現を期す。 ※詳細趣旨（別紙1）

II 実施時期：2024年4月～2025年3月

III 対象地域：東日本大震災被災地（大船渡市、宮古市、陸前高田市）

IV 調査チーム

- (1) 調査指導：高橋 正征【調査団長・漁業資源】東京大学名誉教授、（公財）日本科学協会会長
中林 一樹【防災】東京都立大学名誉教授、首都防災ウィーク実行委員会代表
半田 亨（依頼中）【IT・統計】早稲田大学本庄高等学院長
- (2) スタッフ 木谷 正道【チーム・リーダー】首都防災ウィーク実行委員会事務局長
鈴木 達雄【研究主任】実行委員会・シティコン海底山脈事業部長
板垣喜代子【調査主任】実行委員会・弘前医療福祉大学教授
原 香織【広報主任】実行委員会・広報事業部長
池野 一成【映像主任】実行委員会・映像・音響事業部長
藤田 千晴【マネジメント・会計主任】中小企業診断士（災害復興まちづくり支援機構）
安東 篤史（早稲田大学創造理工学部、WASEND（早大防災教育支援会））
佐藤 光平（早稲田大学創造理工学部、WASEND（早大防災教育支援会））
宮崎 佑衣（早稲田大学創造理工学部、WASEND（早大防災教育支援会））
そのほか

V 調査活動内容

- 資料制作とWEB掲載：基本資料、アンケート調査票、Q&Aなど 2月～4月
- 三市へのアンケート調査 5月～7月
 - 市民、漁業者へのWEBアンケート調査 1200人（各市400人）
 - 基石地区への紙による悉皆調査（5地域、1100人）
- 宮古市への現地調査 5月、8月
- 「基石海岸サマーキャンプ」 8月24日（土）～26日（月）
 - ▼宿泊施設：大船渡市基石地区コミュニティセンター（大震災時の避難所） 寝袋での合宿
 - ▼参加者55人：学生10人、高校生30人（うち、現地高校生20人）、講師・スタッフ15人
- 「大船渡・基石海岸秋フェス」10月19日（土）～21日（月）
- 報告書作成とWEB公開 2025年2月

VI 詳細スケジュール（省略）

VII 参考資料

- 2011年8月「東日本大震災宮古市復興構想～コンクリート塊による水産基盤機能の早期復旧について」(添付)
- 2012年7月「漁場施設への災害廃棄物等再生利用の手引き」(水産庁)(添付)
- 2019年「人工海底山脈のひみつ」 <https://qr.paps.jp/PNNJ> (4分)
- 2021年「ぼうさいこくたい」プレゼン <https://www.youtube.com/watch?v=wH6suHlvW0o> (14分)
- 2021年「シティコンで建設する海底山脈プロジェクト」の提案（提案者代表：中林一樹）」(添付)
- 2023年10月14日：大船渡市記念フォーラム https://youtu.be/Pou-1_2_GBY (2分余)
- 2023年10月15日：「シティコン海底山脈フォーラム」<https://youtu.be/omUBdFN8578> (8分余)
- 2023年「都市防災ハンドブック（鈴木達雄論文）」(添付)